



APNIC 60 参加報告

慶應義塾大学 原 哲平



目次

- 自己紹介
- 本カンファレンスの概要
- なぜ参加したのか
- 参加したセッション
- 特に印象に残ったセッション
- 今回の経験をどう活かしたいか
- 参加支援プログラムに対する所感





自己紹介

原 哲平

- ・ 慶應義塾大学 環境情報学部 2年
- ・ 村井合同研所属
- ・ 興味がある分野
 - 移動体通信(モバイル通信)
 - IoT向け通信(BLE, LPWA)
 - ネットワーク(IPv6)

本カンファレンスの概要



APNIC 60

ダナン, ベトナム

参加期間 9/8 ~ 9/11





なぜ参加したのか

- ・ ネットワークの運用の問題や新たな技術について知見を深める

→ 実際にインターネットを運用しているISP, IXPの方から話を聞く

- ・ インターネットに関するポリシーや技術標準がどのように議論され、意思決定が行われるのかを実体験する

→ Policy SIGへの参加

参加したセッション

9/8 - Conference Day 5

- APStar Meeting
- APIX Meeting





参加したセッション

9/9 - Conference Day 6

- Newcomers Welcome
- APNIC Opening Ceremony & Keynotes
- Networking Protocols - Technical Session 1
- NIRs and APNIC in the Next Decade: Strengthening Roles, Collaboration, and Innovation - NIR SIG
- NextGen Navigator – BoF
- Welcome Social



参加したセッション

9/10- Conference Day 7

- ICP-2 Review - RIR Governance Document Consultation
- Network Operations - Technical Session 3
- Open Source Technologies - Technical Session 4
- APNIC / FIRST Security 2
- Lightning Talks
- APNIC fellowshipの方との交流



参加したセッション

9/11 - Conference Day 8

- Unraveling Network Attacks: Mastering Network Threat Detection and Defense
 - Practical insights with Zeek and MITRE ATT&CK – Tutorial
- Open Policy Meeting - Policy SIG 1
- Open Policy Meeting - Policy SIG 2
- APNIC Member Meeting 1
- APNIC Member Meeting 2
- Closing Social



特に印象に残ったセッション

- **APIX Meeting**

- アジア太平洋地域のIXP が参加し、交流やピアリングを促進する協会
- 実際にIXPを運営する団体が採用している技術や直面している課題に関する報告は、極めて興味深いものであった。



特に印象に残ったセッション

• Networking Protocols - Technical Session 1

- Jonathan Brewer氏による、ニュージーランドでのGISを活用したネットワーク運用に関する発表
- 「回復性（Resilience）」という新たな視点
- Geoff Huston氏による、QUICプロトコルに関する発表
- 日本特有のネットワーク環境での問題



特に印象に残ったセッション

- **Networking Protocols - Technical Session 1**

- Maria Matejka氏による、技術文書や教育資料におけるIPv6の扱いに関する発表
- 「The neglected younger sibling（無視された弟）」



特に印象に残ったセッション

- **Open Policy Meeting - Policy SIG 1 & 2**

- prop-164及びprop-165がコンセンサスに至るか注目
→ 最終的にいずれも見送りとなった
- 単に反対するのではなく、提案者にフィードバックを行う
→ 建設的な議論につながる

今回の経験をどう活かしたいか



- IPv6への移行の重要性
 - 単一の努力ではなく、すべてのネットワークが取り組む課題
 - ベトナムが2032年までに、IPv6 Onlyのネットワークに移行
→日本も追従していかなければならない
- サイバーセキュリティ分野の課題
 - 多様化する脅威に対しての様々な対策

今回の経験をどう活かしたいか



- ポリシーや技術がどのように議論され、意思決定が行われるのかを実体験する
 - 様々なステークホルダー間の利害調整
 - 国籍・職業のバックグラウンドが異なる人との交流

参加支援プログラムに対する所感



本支援プログラムの参加にあたり、参加前の情報交換会及び会期中の支援、渡航費用など、多大なる支援をJPNIC様から頂きました。この場で感謝申し上げます。



THANK YOU

